

【体育学習構想図】

生涯スポーツ

体と心の
一体化

ずっと
続けたいな

運動って
楽しいな

もっと
やりたいな

できた！

工夫して活動する楽しさ
特性にふれる楽しさ
友達と一緒に活動する楽しさ

教師の支援

- ・ 道すじ
- ・ 言葉かけ
- ・ 場の設定
- ・ グループング
- ・ 助言 など

めあて学習

子どもの姿（思い・願い）

<川崎市小学校体育研究同好会参考>

<このような視点から体育の学習を>

現在行われている体育の学習では、まず、学びの意欲を大切にしていきます。子どもの側に立つ視点で授業を考えたとき、子どもの実態にあった学習を計画し、子どもの変容に応じて学習計画を修正していくことが学びの意欲を大切にされた学習ととらえます。さらに、子どもたちの学びを育てていくために、自分のめあて解決に向けての取り組み方を考えたり、ふりかえったりする学習を大切にしていく必要があります。そのための教師の指導・支援と評価の工夫をしていくことが必要になってきます。

<生涯スポーツライフをめざして>

体育科の学習を通じて、子どもたちが、生涯にわたり、運動と積極的にかかわり、運動を日常生活に取り入れ、生活の重要な一部にすることをめざしていきたいと考えます。子どもたちが運動を続けたい、運動とかかわりたいという気持ちを持ち続け、健康的で潤いのある明るい生活を生き生きと営んでいけるようにすることをめざしています。

<仲間とのかかわりを大切にして、心と体の一体化を>

心と体を一元的に捉え、体を動かすことによって生まれた「体」と「心」の快さを感じられる子どもたちを育てていきます。運動することは、体と心をつくるもの、体と心を育むもの、また、体と心に響くものであると考えます。運動することは、人の営みの基礎にあります。そのために、体育科の学習において、運動の楽しさや喜びを味わい、運動の課題を解決するなどの学習を積み重ねていくことが大切になってきます。

南部小での体育授業研究の視点 (案)

【めざす子ども像】

- 自分のめあてを持ち、楽しく学び合う子ども
- 仲間とともに、いろいろな運動に取り組む子ども



【わたしたちが願う子どもの姿】

- 自分のめあてを持ち、心を開き関わり合い学び合える子ども
- 多くの仲間とともに、仲良く生き生きと運動できる子ども

体育の授業について共通理解を図りたい視点

- ①「めあて学習」の“めあて”のとらえ方と進め方
(とらえ方について)

今できる技でのめあてをもつ	少しがんばればできそうな技のめあてをもつ
ねらい① (集団) めあて① (個人)	ねらい② めあて②
できる	できない (新しい課題への気づき)

従来は

めあて学習は

できない→できる

できる →できない (新しい課題)

(進め方について)

- ①目標を設定する…できるようになりたい, こうなりたい, 勝ちたいなどの技や記録の目標や願いをもつ。(※課題)
- ②課題を選択する…その技ができるようになるための運動のポイントやコツをつかむ。(※作戦)
- ③活動を決定する…課題を解決するための活動の仕方や活動の場を工夫し決定する。(※練習)

<各学年の発達段階に応じたためあて>

低学年→自分のためあてを選ぶ

中学年→自分のためあてをもつ

高学年→自分のためあてに向かって挑戦する

②授業づくりのポイント

1 運動に親しむ → 運動の楽しさを味わわせるための工夫

- ・ **単元構成の工夫** → 学習の見通しや運動への願いをもてる
意欲を持続させる
学習の成果が見える
子どもの実態や伸びに対応できる
- ・ **場の設定やルールの工夫** → 子どもの願いに対応できる場
身につけた力が伸びる場
自分の伸びや高まりが認識できる
自分の力に合った活動を選択できる
- ・ **評価活動の工夫** → 子どものたちの学習によりよい活動の変化

2 仲間づくり → 仲間どのかかわりの場の工夫

- ・ **学びあいの工夫** → 学習の約束や進め方がわかる
自分の力を知る…めあてをもつ
友達の動きを見る
いいところを見つけ直すところを教える
よい動きをやってみせる
励ましてあげる
練習の方法を考える(資料を活用し選ぶ)
自分やチームに合った練習をする

第5学年 体育科学習活動案 「みんながヒーロー つないでシュート！」(サッカー)

平成16年11月16日(火) 5校時
授業者：寒河江市立南部小学校 兼子 伸也
(男子16名, 女子14名, 計30名)

1 単元目標

- (1) 作戦を工夫し、自分の力を生かし意欲をもってゲームに取り組むことができる。
また、友達と協力し合い、教え合い励まし合いながら学習できる。
- (2) サッカーの特性に応じた自己の課題の解決を目指して、活動の仕方を考え、学習の仕方を工夫することができる。
- (3) 自己の能力に応じた課題を理解して運動を行うとともに、サッカーの特性に応じた技能であるパスやドリブル・シュートを身につけることができる。

2 授業者の願い

こんな力をつけたい

- ① みんなが活躍できるようなルールの工夫をすることができる。(1)(2)
- ② 自分や相手チームの特徴に応じた攻防の作戦を立てることができる。
(1)(2)(3)
- ③ チームの課題に合った練習に計画的に取り組むことができる。(3)

こんな工夫をして

- ・ ハーフコートを2コート設定しゲームを進める。ゴールは支柱にゴムひもを張ったものを利用していく。ゴールの大きさなどは、ゲームの様相と児童との話し合いで変更していく。①
(縦グリッドコート・横グリッドコート、トライアングルコートなどの選択)
- ・ 課題解決に向けて、教え合いができるような場の設定の工夫。①②
(チーム編成は、男女混合の班[5人×6チーム]とするが、勝敗は兄弟チームの合計で争う。1人少ないときには、兄弟チームから入ってもよい)。
- ・ 自分やグループを見つめ評価できるような学習カードの活用。②
- ・ 自己のめあてが達成できるような支援の工夫。①②③

こんな子どもたちを

- たくさんシュートしてゴールしたいという個人的な達成欲求が強い。
- 女子もサッカーに対する興味は強く、あまりボールを怖がらない。
- 技能の状況は、サッカースポーツ少年団に入っている子と他の子の技能の差が大きい。
- 話し合いの際、友達の意見に対して、その場で考えをまとめ、意見を柔軟に発言する力が弱い。
- 集団での話し合いの仕方に慣れておらず、深まりが足りない。

こんな教材で

- ・ サッカーは、主に足を使ってのパスやドリブル、シュートを身につけ、みんなが楽しめるためのルールを工夫したり、チームの特徴を生かした作戦を立てたりして、勝敗を競い合う楽しさを味わうことができる。
- ・ ミニゲームによって、同じような場面が繰り返し再現されるため、実戦形式で基本技術を習得できる。
- ・ 少人数なので、一人がボールに触れる機会が多い。
- ・ ボールを持っていない時の動きの重要性を学べる。

まじは 正しい知識をやってみよう

<活動案の書き方の例>・・・簡素化したもの (A4 4枚)

3 研究との関わり

(1) 運動量の確保と体を動かす楽しさを味わわせるための工夫

チーム編成

- ・ 男女混合の班（5人×6チーム）とするが、勝敗は兄弟チームの合計で争う。（1人足りないときには兄弟チームから入ってもよいが、同じ子ばかり入らないなどルールの工夫が必要）そのことによって、兄弟チーム同士の教え合いや励まし合いもねらっている。

ミニゲーム化

- ・ 情緒障害の子も1名含むので、一番サッカーが得意な子のチームで面倒を見るように編成した。
- ・ 準備運動や体ほぐしの運動にミニゲームを取り入れることにより、ボールに向かう姿勢が消極的な女子でも、少人数の中でたくさんボールに触れる機会を多くしていく。

ルールの工夫

- ・ ルールについては、サッカーの特性が生きる基本的なルールについて理解できるように紹介をし、審判のやり方もわかるようにする。また、サッカーを楽しく行えるようにゲームの様相から工夫例も紹介していく。
- ・ 審判、得点係など…役割分担して交替で行わせる。
- ・ ゴールキーパー…最初はキーパーなし。後は子どもたちの話し合いによる。
- ・ 外に出たボール…相手チームのボールとし、投げ入れても蹴ってもよし。

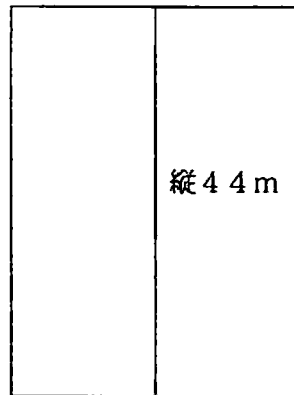
(2) めあてを達成し成就感を味わう場の設定の工夫

伸びや課題に応じた場の設定

- ・ ハーフコートをも2コート設定し進める。ゴールは、支柱にゴムひもを張ったものを利用していく。コートの大きさなどは、ゲームの様相と児童との話し合いで変更していく。

[はじめのコート]

縦グリッド2コート

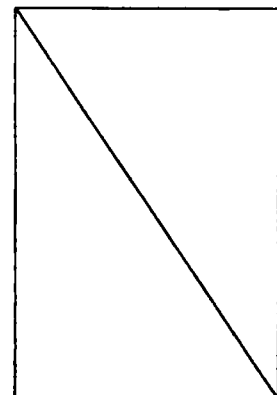


横 2.2 m

ゴール幅 4 m
高さ 1 m

[コート工夫例]

トライアングルコート



(3) 仲間との関わり場の工夫

学習の進め方や約束の確認

学習カード

よさの認め合い

- ・ 学習の流れを掲示し、児童が自主的、計画的にめあて達成のための練習に取り組めるようにしていく。
- ・ 学習カードは、チーム用と個人用のものを使用させる。チーム用のものには作戦や反省を、個人用のものにはめあてについての反省と自己評価などを書かせるようにしたい。
- ・ サッカーでのよさを見つけようということで例として資料を掲示するとともに、「体育でのよさ」・「心のよさ」・「頭のよさ」・「プレーのよさ」を全員に広げ認め合えるようにしていく。

4 学習計画 (10時間扱い・・・本時6教時目)

時	はじめ	なか							まとめ	
	1	2	3	4	5	⑥	7	8	9	10
		準備運動 (シュート・ドリブル・パスのゲーム化) [3分]								
10	はじめ	ねらい① 簡単なルールやしかたを理解し、マナーを守ってゲームを楽しむ。			ねらい② 対戦相手を決め、ルールや場に工夫をし、ゲームを楽しむ。				南部カップ ・トーナメント戦を行い、ゲームを楽しむ。	
20	・学習の進め方を知る。 ・マナーやルールを理解する。	・ミニゲーム (1対1, 2対2など) [10分] ・総当たり戦のゲーム (第1試合) を楽しむ。 [1試合4分×2回] ・場を体験する。 ○ 縦グリッドコート ○ 横グリッドコート ○ トライアングルコート			・対戦チームやルール・作戦の確認をする。 [5分] ・場を選択する。 ・第1試合を楽しむ。 [4分×2回] ・反省、練習をする。(兄弟チームと) [15分]					
30	・グループと役割分担 ・試しのゲームをする。	・反省、練習 [10分] ・総当たり戦のゲーム (第2試合) を楽しむ。 [1試合4分×2回] ・反省をする。 [2分]			○ 作戦 ○ 個人的に高めてあげたい子の技能 ○ 第2試合に生きる練習 ・第2試合を楽しむ。 [4分×2回] ・反省をする。 [2分]					
40		全体反省 [4分] ・友達のよさ、感想、困ったこと、ルール作り								
										まとめ

5 本時の学習

(1) 本時の目標

- ・進んで練習方法を工夫し、友達と協力しながら練習に取り組もうとしている。
- ・ゲームから出てきた問題から自分のめあてをもち、めあてに応じた場で練習することができる。
- ・ゲームの攻め方や守り方を意識して、選択した場(コート)を生かしてプレーすることができる。

(2) 授業の視点

- ・個人技能の高まりを期待して準備運動でのパスゲームや、兄弟チームの中での教え合いを仕組んだことが、友達と関わりながら練習することに生かされていたか。
- ・選択した場に応じた作戦と練習がゲームに生かされていたか。

(3) 学習の展開

・留意事項 ○支援 評価	時間	学習活動の流れ
<ul style="list-style-type: none"> ・ゴールを設定する。 ・友達と協力しながら楽しく取り組ませる。 ・何がうまくなりたいのか、そのための練習を考えさせる。 <p>○困っているチームへアドバイスをし、自分たちで練習方法を選択させる。(例示など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グリッドコートやトライアングルコート、ラッキーゾーンなど選択させる。 ・審判、得点係りは交替で行わせる。 ・グループ内での教え合いや励ましを活発に行わせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・練り直した作戦を生かし、練習をする。 <p>○めあてに合った練習を示唆し選択させる。</p>	<p>3</p> <p>8</p> <p>16</p>	<p>1. 用具を準備し、準備運動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パスゲーム <p>2. あいさつをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人のめあてを確認する。 ・チームのめあてを確認する。 <p>3. 作戦を確認する。</p> <p>4. 場を選択する。</p> <p>5. ゲーム(第1試合)をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4分×2回 ・Aコート、Bコート <p>6. 反省をし作戦を練り直し練習する。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ゲームから出てきた問題から自分のめあてをもち、めあてに応じた場で練習することができたか。 </div>		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 進んで練習方法を工夫し、友達と協力しながら練習に取り組もうとしているか。 </div>	31	<p>7. ゲーム(第2試合)をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4分×2回 ・1試合目と同じ対戦チーム
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ゲームの攻め方や守り方を意識して、選択した場(コート)を生かしてプレーすることができたか。 </div>	39	<p>8. チームごとに反省をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習カードに反省を書く。
<p>○チームや友達のよかったところを賞賛したり励ましたりして、次時への意欲をもたせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルールについて困った点を出させ話し合わせる。 	41	<p>9. 学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変更したいルールについて話し合う。 ・次回の対戦相手チームを決める。 <p>10. 後片付けをする。</p>